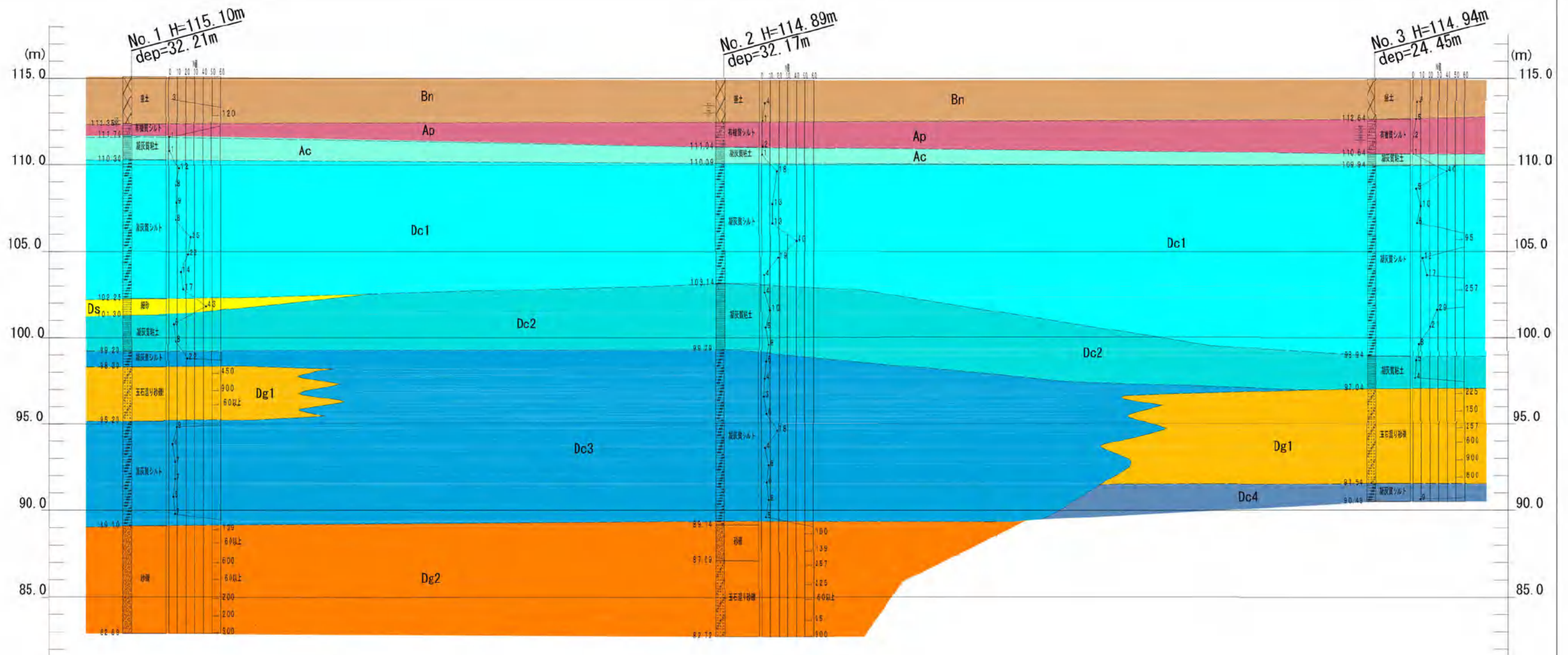


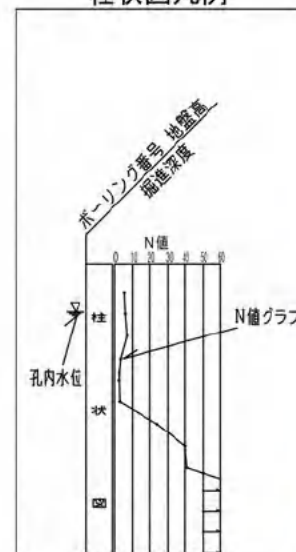
工事名	鹿沼公園地質調査業務委託		
図面名	断面方向図		
年月日	令和 7年 9月		
尺 度	—	図面番号	3
調査機関			
発注機関	相模原市 教育局 生涯学習部 生涯学習課		



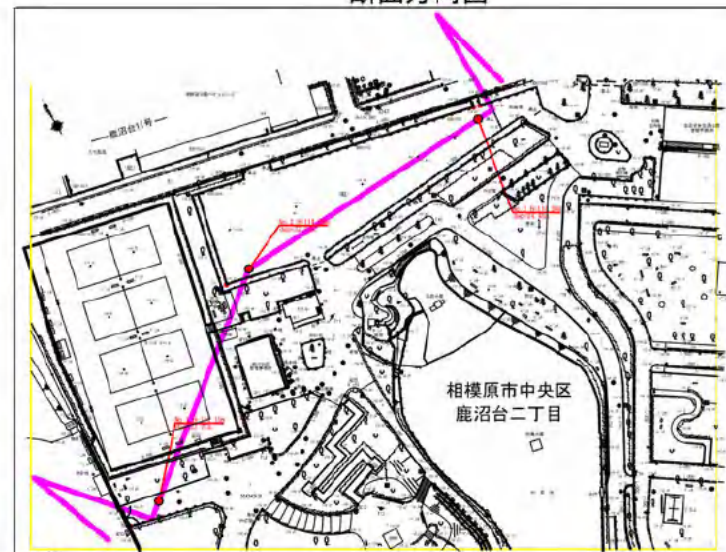
凡例

地層名	記号
盛土	Bn
沖積有機質土層	Ap
沖積粘性土層	Ac
第1洪積粘性土層	Dc1
洪積砂質土層	Ds
第2洪積粘性土層	Dc2
第3洪積粘性土層	Dc3
第1洪積砂礫層	Dg1
第4洪積粘性土層	Dc4
第2洪積砂礫層	Dg2

柱状図凡例





断面方向図



工事名	鹿沼公園地質調査業務委託		
図面名	推定地層断面図		
年月日	令和 7年 9月		
尺度	H=1/500 V=1/250	図面番号	2
調査機関			
発注機関	相模原市 教育局 生涯学習部 生涯学習課		

ボーリング柱状図

調 査 名	鹿沼公園地質調査業務委託									
事 業 ・ 工 事 名										
ボーリングNo.				5	3	3	9	2	3	8
シートNo.				2530021-03	1	0	0	3		

ボーリング名		No.3			調査位置		神奈川県相模原市中央区鹿沼台2丁目15-1					北緯		35° 34' 02.2800"					
発注機関		相模原市教育局生涯学習部生涯学習課					調査期間		令和7年 7月26日～ 令和7年 7月31日					東経		139° 23' 33.9200"			
調査業者名					主任技師				現代場				コア		ボーリング				
									代理人				鑑定者		責任者				
孔口標高		H=114.94m		角 度	180° 上 下 0°	方 向		地盤勾配	0° 鉛直 90°	水平 0° 	使用機種	試錐機		東邦 DO-D		ハンマー落下用具		半自動型	
総掘進長		24.45m										エンジン		ヤマ-TF90-VE		ポンプ		東邦 BG-3C	

標尺	層厚	深	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		掘進
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数／貫入量	N	値	深	試験名及び結果	深	試料採取番号	内進試験
m	m	m	m	図	調	度	事		日	m	0 10 20 30	0 10 20 30	0 10 20 30 40 50 60	m		m	号	方	月
1					灰	中位	0.0~0.15m アスファルト	Bn		1.15	1	2	3	6					
2	112.64	2.30	2.30		暗灰		0.15~0.45m 碎石			1.45	8	15	7	30	6				
3					黒		0.45~0.60m 明色の砂質シルト	Ap	7/28 2.87	2.15	3	1	1	5	5				
4	110.64	2.00	4.30		有機質シルト		0.60m以深 黒灰色の焼却土及び粘性土 ビニール片混入 φ50mm程度の礫混入		3.22	3.15	1	1	2	35	2				7/26
5	109.94	0.70	5.00		凝灰質粘土	中位	1.80m付近 コンクリートガラ混在	Ac		3.50	22	13			1				
6					淡褐灰	非常に軟らかい	暗色を呈し、酸化物・有機物を含む			4.15	1		1	30	1				
7					淡緑灰		粗粒分を少量含む			4.45	30								
8							湖沼堆積物			5.15	20	11	9	40	40				
9							下部に従いやや明色となる			5.45				30					
10							粘性やや強く、軟らかい 暗色粘土を基質として明灰色の粘土を含む 酸化物を含む			6.15	1	2	2	5	5				
11							5.0m付近 暗色を呈し、硬質			6.45	8	12		30	10				
12							粗粒状のスコリア・炭化物を含む			7.15	3	3	4	10	6				
13							7.0~8.0m間 均質で暗色を呈する			7.45				30					
14							細粒な軽石を少量含む			8.15	2	2	2	6	6				
15							8.0~9.0m間 やや明色を呈し、8.85m付近より暗色部を互層状に薄く挟む			8.45				30					
16	98.94	11.00	16.00				所々、硬質となる			9.15	26	34		60	95				
17							φ2mm以上のスコリア粒が散見される			9.34		9		19					
18	97.04	1.90	17.90				9.0~9.75m間 粗粒状で硬質	Dc1		10.15	4	4	4	12	12				
19							9.75~10.0m 軽石			10.45				30					
20							10.0~10.8m付近まで 細粒			11.15	4	5	8	17	17				7/28
21							10.8m付近より スコリア粒を含み粗粒となる			11.45				30					
22							11.0m付近 軽石を含む			12.15	60			60	257				
23							所々、非常に硬質な箇所がある			12.22	7			7					
24							粗粒で固結状を呈する			13.15	7	11	11	29	29				
25							12.0m付近 極めて硬質			13.45				30					
26							13.0~14.0mにかけて ブロック状に明色部（軽石）、暗緑色のシルトが介在する			14.15	5	6	10	21	21				
27							やや不均質			14.45				30					
28							全体に粗粒状のスコリアを少量含む			15.15	2	3	3	8	8				
29							14.0m以深 細粒で均質となり、少量の軽石を含む			15.45				30					
30	96.94	11.00	16.00				16.65~17.0m付近 やや明色を呈し、軽石を含む	Dc2		16.15	1	2	2	5	5				
31							17.20m付近 細粒状の軽石を含む			16.45				30					
32	97.04	1.90	17.90				下部 やや粘着性が高い			17.15	1	1	2	4	4				7/29
33							軽石が散見される			17.45				30					
34							φ2~50mm程度の垂円・垂角礫主体			18.15	60			60	225				
35							マトリックスは砂混りシルト			18.23	8			8					
36							酸化物が含まれる			19.15	44	16		60	150				
37							細粒部は凝灰質であるが、暗色を呈し全体に締まっている	Dg1		19.27		2		12					
38							短柱状コアで最大長さ70mm程度の玉石を多く採取			20.15	60			60	257				
39							玉石の最大径はφ250mm程度			20.22	7			7					
40	91.54	5.50	23.40							21.00	60			60	600				
41										21.03	3			3					
42										22.00	60			60	900				
43										22.02	2			2					
44	90.49	1.05	24.45							23.00	60			60	600				7/30
45										23.03	3			3					
46										24.15	2	3	4	9	9				7/31
47										24.45				30					